

# 彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, December, 2009

課長：関 勉 *T. Seki*

幹事：松本 敏一 *T. Matsumoto*, 幹事：佐藤 裕久 *H. Sato*

## ○12月の状況 (佐藤)

☆ C/2007 Q3 (Siding Spring) (写真 a)

12月18日 15:01、芸西天文台の関課長から彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML) に「…眼視観測です。相対的に大口径は暗く見積もると言われていますが、どんなものでしょうか？写真的観測も似たような光度になっています。尾が僅かに西に流れそうな感じですか。…」とのコメントと眼視観測報告があった。

2010年1月5日 12:24、千葉県船橋市の張替憲氏から oaa-comet ML に「報告が遅れましたが、デジタル一眼+望遠レンズ撮像による観測です。C/2007 Q3 のコマは小さいながら広がった尾のはっきりしてきました。」との報告があった。

☆ C/2009 Y1 (Catalina)

12月20日 13:40、東京都大田区の佐藤英貴氏から oaa-comet ML に「…NEOCP に上がっている 9Y2317E は 20 等と暗く、コマがない姿で小惑星状ですが、5" の尾のような構造が PA230° の方向にかすかに写ったので、もう少し大きな望遠鏡で観測したいところです。G96 (1.5m) や H01 (2.4m) ではどのように写ったのか気になります…」とのコメントと位置観測の報告があった。

翌日 02:00、CBET 2084 に、R. E. Hill の通報によると、12月17.51日 UT、Catalina

スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡によって 19.4 等の小惑星状天体が発見され、小惑星センターの 'NEOCP' ウェブページに掲載後、W. H. Ryan と E. V. Ryan (Magdalena Ridge 天文台, 2.4-m f/8.9 反射) は、12月18.4日 UT, 20.5日 UT に p. a. 260° に微かな尾を観測したほか、佐藤英貴氏 (東京都大田区, Mayhill 近郊リモート 25-cm 反射使用) ら位置観測者によって彗星状として観測されたと報じられた。

☆ C/2008 S3 (Boattini)

12月5日 11:03、東京都大田区の佐藤英貴氏から oaa-comet ML に「…ところで昨日、逆行の特異小惑星 2009 WP<sub>104</sub> をオーストラリアで狙いました。この彗星はおそらく C/2008 S3 (Boattini) と同一天体と思います」との報告があり、続いて 17:51 同氏から「…特異小惑星 2009 WP<sub>104</sub> と C/2008 S3 は同一天体で間違いないと思います。…」とのコメントと C/2008 S3 の位置観測報告があった。

6日 02:30 筆者より oaa-comet ML に「C/2008 S3 (Boattini) と 2009 WP<sub>104</sub> の軌道をそれぞれ求め、連結も試みました。2009 WP<sub>104</sub> は 12月4日に Tenagra II Observatory (926) で観測され MPC で周期 910 年と計算しています。私はまだ観測が入手できないので加えていませんが、佐藤英貴さんの観測を加えると 960 年ぐらいの周期です」とのコメントと C/2008 S3 (Boattini) と 2009 WP<sub>104</sub> の軌道とともに連結

軌道を示した。

その後、この特異小惑星 2009 WP<sub>104</sub> は、12 月 17 日付けの MPEC 2009-Y16 と 12 月 31 日付

けの MPC 67808 で削除され MPEC 2009-Y16 と MPC 67920 に C/2008 S3 として再掲された。

● 眼視等観測報告

C/2006 W3 (Christensen)

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Dec.	4.44	10.0	1.5'	4	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾

C/2007 Q3 (Siding Spring) (写真 a)

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Dec.	12.77	10.0	1.5'	7	5.0'	260°	4/5	3/5	EOSX2 *	張替憲	
	12.83	10.6	1.5	6	3	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	16.79	9.5	2	7	-	-	4/5	5/5	144×70-cmL	関勉	
	16.84	10.2	2.0	6	-	-	3/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	17.80	10.1	1.6	7	3.6	265	5/5	1/5	EOSX2 *	張替憲	
	18.73	9.8	1.5	7	4.5	260	5/5	4/5	EOSX2 *	張替憲	
	20.84	10.0	2.0	6	5	-	3/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	22.84	9.7	2.0	6	-	-	3/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	***
	22.85	10.5	1.0	7	-	-	4/5	-	79×30-cmL	永島和郎	
	26.85	9.8	2.0	6	5	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	***

81P/Wild (写真 b)

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Dec.	12.73	10.5	1.8'	6	-	-	3/5	3/5	EOSX2 **	張替憲	
	12.82	11.2	2.0	4	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	16.82	11.0	2.0	4	-	-	4/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	17.79	10.8	1.6	6	1.2'	300°	5/5	1/5	EOSX2 **	張替憲	
	18.72	10.4	2.0	6	2.0	290	5/5	4/5	EOSX2 **	張替憲	
	20.82	10.8	3.0	4	-	-	3/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	22.73	10.4	2.0	6	2.0	295	5/5	4/5	EOSX2 **	張替憲	
	22.82	11.4	1.2	5/	-	-	4/5	-	79×30-cmL	永島和郎	
	22.83	10.3	2.0	5	-	-	2/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	
	26.84	10.2	2.5	5	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	***
	26.85	10.4	1.8	6	2.0	295	3/5	3/5	EOSX2 **	張替憲	

88P/Howell

2009	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer
Dec.	4.41	9.5	4'	3	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	7.41	9.5	2	3	-	-	3/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾
	8.39	10.9	1.2	2/	-	-	4/5	-	79×30-cmL	永島和郎

\* 200-mm f/2.8 lens 120~140 秒露出 \*\* 同 80~140 秒露出 \*\*\* 16×7-cmB 併用

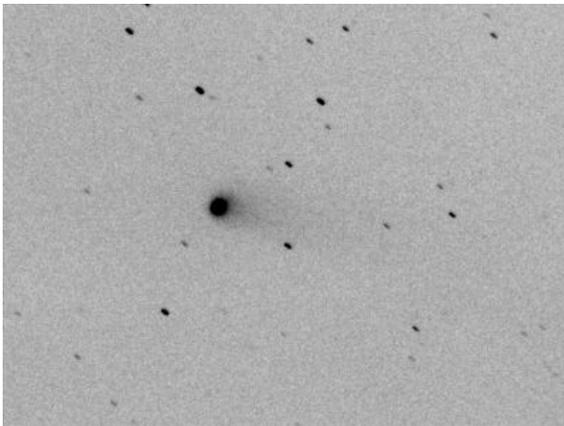
### ○12月に発見・検出された彗星

☆ 231P/2003 CP<sub>7</sub> = 2009 X1 (LINEAR-NEAT) Gary Hug (Scranton, カンザス州)は、12月11日、15日、16日、Sandlot 天文台の0.56-m 反射望遠鏡の CCD 画像から P/2003 CP<sub>7</sub> を検出した。検出光度は 20.0 等であった。MPC 62880 の予報に対する修正値は  $\Delta(T) = -0.5$  day であった (IAUC 9101, 2009 Dec. 31)。

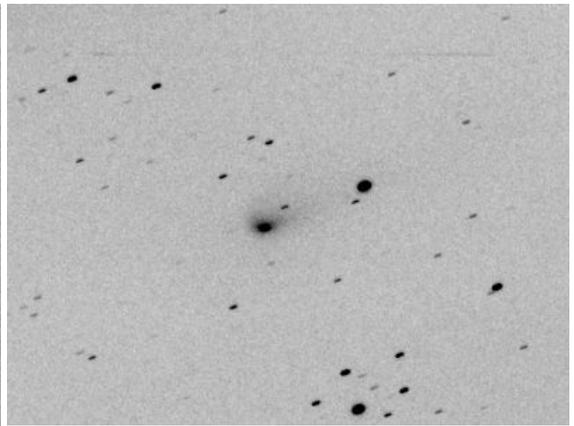
☆ P/2009 Y2 (Kowalski) R. A. Kowalski (LPL, 月惑星研究所)は、12月20.12日 UT、Catalina スカイサーベイの 0.68-m Schmidt 望遠鏡によって 18.9 等の彗星状天体を発見した。丸いコマと p. a. 270°に強い集光があった。A. R. Gibbs は、12月20.2日 UT、Mt. Lemmon 1.5-

m 反射により、p. a. 45°に 4".5 の広がった尾を観測した。小惑星センターの'NEOCP'ウェブページに掲載後、A. R. Gibbs と E. V. Ryan (Magdalena Ridge 天文台, 2.4-m f/8.9 反射)ら位置観測者によって彗星状として観測された (IAUC 9103, 2009 Dec. 31)。

その他明るい彗星は、217P/LINEAR, 22P/Kopff, 118P/Shoemaker-Levy, P/2009 Q4 (Boattini), 30P/Reinmuth, 29P/Schwassmann-Wachmann 等であった。



(写真 a) C/2007 Q3 (Siding Spring) 2009, 12, 23  
3h12.0m-22.0m (JST) exp. 60s×7 TOA130+CCD  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 81P/Wild 2009, 12, 23  
2h40.0m-50.0m (JST) exp. 60s×7 TOA130+CCD  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏